葉の色と言い、艶も申し分ありません。葉の先端に露が付いた跡がありますが、この露の付き具合は、
この作の中で変化は感じますか？
例えば、つき方が多くなってきている。または、少なくなってきている。など観察して下さい。これは
生育具合の大変重要な予兆になります。
多くなっていれば、生育は上方へ、逆の場合は悪くなっている。問題は後者の場合です。
原因として考えられるもの。
１．Ｃａなどの養分が不足して来ると露が付かなくなる。
２．培地のｐＨが高くなっている。→成り疲れを来す原因。病気が多くなる。
この２．は誰もが考えていない事で、植物生理的には大変重要な意味合いがあります。
落口で落水をとり、そのｐＨが６．５までで止まるようにして下さい。（ｐＨは毎日計測する）

写真を見ていますと、花芽も順調で多く、これからは猛烈に養分を要求してきます。現在でもＣａ欠や
Ｍｏの欠乏が少し伺えます。今の潅水方法は、多分、点滴や一か所に集中するような水のかかり方にな
っていると思います。これでは偏った斑状にしか養分を掛ける事ができません。そこで、これからは次
のような潅水方法に改善して下さい。

①養分は園試処方にグリーンアップを１０００倍に溶いてホースで流し込み、ベット全体に貯水し、朝
方一気に抜きます。（この時の培養液のｐＨは６．２になっています）・・・週１回
これでもＣａ欠は出るでしょう。その時は、その間さにＣａと微量要素だけを、つまり３日目位に与え
る必要があります。（１週目：園試処方→Ｃａ→／２週目：園試処方→Ｃａ／３週目：園試処方→Ｃａ
→・・・・という具合）
②落ち口で計測したｐＨが６．５を超えるだろうと予想出来る時は、潅水時の水のｐＨを５．５に下げ
て、ベッドに水を貯め朝方一気に抜きます。（培地の中和と空気の流入作業、これはその都度行います）
この作業の時間は夕刻４時くらいから翌日の１０時～１１時くらいまで浸しておく。
そうする事によって、ベッド全体の培地に大量の空気を与える事が出来、また、全体的な根の張り方が
望めます。（但し、この方法をやっていつまでも土が乾かない設備ではやってはいけません。過湿になっ
て根腐れを来します）

ここまではまだ上手くやれる筈です。問題はこれからが色々な障害が出てきます。管理は１週間から１
０日先を予想して、今その対策をしておかなければ、すぐに成り疲れに陥ると思います。その時が病気
の襲来です。
花の角度も良いし現地点では良く出来ていますが葉が少しカップ状になっています（特に下葉、これは
苗が良くなかったのでしょう）。
新芽の上がり具合も少し気になります。また、映像を下さい。
不明の点は 090-1023-7301 へ。 以上